

出展者報告書 小間番号No.1～No.4

1

一般社団法人北九州エコタウンネットワーク 【エコタウンカードゲーム】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | 北九州エコタウンセンターのPRや環境啓蒙活動のため |
| 出展の内容 | 来場者に北九州エコタウンで行っているリサイクルやエネルギーについてクイズ形式でご紹介。 参加頂いた方にはエコカイロをプレゼント。 |
| 今回の成果 | 地元北九州は国内でも指折りの環境首都で、その取り組みは世界的にも高く評価されている。 市民の皆さんにカードゲームを通してお伝えできたことによりシビックプライドの醸成にも貢献できた。 |
| 今後の課題と展望 | エコタウンセンターの事をまだご存じない市民の方もいらっしゃって、今後も精力的にセンターや環境のことをPRしていきたい。 |

2

北九州市環境局環境学習課 【手作り風車工作体験】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・北九州市の再生可能エネルギーの取組を学んでもらう。・風車工作体験を通して、風車の仕組み等を楽しく学び、洋上風力発電をはじめとする再生可能エネルギーに興味・関心を持ってもらう。 |
| 出展の内容 | ・洋上風力発電をはじめとする北九州市の再生可能エネルギーへの取組説明 ・風車製作キットを用いた工作 |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に北九州市の再生可能エネルギーの取組について知ってもらう機会となった。 ・子どもたちに笑顔で楽しく風車工作を体験してもらうことができ、羽の向きを変えることで風車がよく回ることを学んでもらうことができた。 |
| 今後の課題と展望 | ・今後もイベント等への出展を通じて、子どもたちに風力発電をはじめとする北九州市の再生可能エネルギーの取組を学んでもらい、再生可能エネルギーについての興味・関心を高めていきたい。 |

3

西南女学院大学 Golden Z クラブ 【プロギングで素敵なまちづくりを目指そう！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・来場者にプロギングについて知ってもらい、今後参加したいと思えるようにプロギングの魅力を伝えること。 ・SDGsに関連したグッズを販売し、北九州ソントクラブの周知とSDGsへの意識の向上を図ること。 |
| 出展の内容 | ・プロギングについての紹介 ・西南女学院大学ゴールデンZクラブの日頃の活動紹介 ・小倉織×ソントクラブのSDGsカラー限定グッズ販売 |
| 今回の成果 | ・プロギングという、北九州市の人々にとってまだ馴染みのない活動について紹介することができた。 ・西南女学院大学ゴールデンZクラブの活動内容について市民の方々に知っていただくことができた。 ・SDGsに関連したグッズ販売を通して、北九州の伝統的な小倉織について多くの方に興味を持っていただくことができた。 |
| 今後の課題と展望 | 同じような活動を行っている学生団体との交流が少ないため、今回のエコライフステージのような地域イベントなど交流の機会を大切にし、学生団体とのコラボイベントや、普段の活動報告会などを通じて自分たちのサークルの活動の幅を広げていきたい。 |

4

一般社団法人Re-EARTH Creative Futures 【海洋ごみから学ぶ、子どもたちの未来】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・来場者にクイズやワークショップ等を通して、楽しみながら環境について学んでもらい、日ごろの生活の中で環境に配慮した行動を自然と選択してもらえるように働きかけること。 ・他の出展者の取組を学び、今後の活動をより有意義なものにしていくこと。 |
| 出展の内容 | ・海洋ゴミに関するクイズ ・海岸清掃及び海洋ゴミの実態や活動報告 ・海洋ごみモザイクアート展の告知 |
| 今回の成果 | ・海洋ゴミの実態を多少周知出来た事・当法人のイベント告知が出来た事 ・当法人イベントで関心を示した層の抽出と関係性の深掘り及びデータ収集等の参考になった。 |
| 今後の課題と展望 | ・当法人イベントの開催に伴い、告知及び認知を拡大する事が課題となった。 ・今後は、海岸清掃活動及び法人活動を継続して行くと共に、更なる認知を拡大して行かなければならない。 |

5 (特)北九州子ども劇場小倉北ブロック 【人から人へ、品物を活用してゴミを減らそう】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | 家庭に眠っている不用品等を必要とする人へ手渡し活用してもらう |
| 出展の内容 | 古着・中古雑貨・中古食器等の販売、新品到来品等の販売 |
| 今回の成果 | 会員に呼びかけて不用品を集めることで、捨てられる品物を減らすことが出来た。 来場者に品物を活用してもらえ、また、「こちらなら売ってもらえるのでは」と品物を持ち込んでくる人もいたので、エコの意識が広がっていると思う。 |
| 今後の課題と展望 | 用意した品物を全て並べることが出来なかったので、もっと見やすく買いやすいよう工夫していく。 |

6 特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン 【食品ロスをなくして、おすそわけ助け合い！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | 来場者にフードドライブを体験してもらい、そしてクイズを通して、当団体の活動をもっと知ってもらう。 参加の輪を広げる取組みをすること。 |
| 出展の内容 | ・ライフアゲインの活動を説明するパネル、発行物の展示と配布・フードバンク・クイズ(参加者にプレゼント) ・フードドライブ(協力者にプレゼント) ・募金箱設置 |
| 今回の成果 | ・クイズに参加してもらうことでライフアゲインの活動が少しでも伝わった。 ・「苦しい時にライフアゲインに助けられた」「フードバンクを知っていたら生活が変わっていたかもしれない」「活動をずっと続けてほしい」「こどもたちのために頑張ってもらいたい」など来場者からお話が聞けた。 ・かんかんランドから使わなかったお米を寄贈いただいた。 |
| 今後の課題と展望 | ・フードドライブは来場者に事前にお知らせができないので、行うのが難しい。(2日間で3人) 「食品ロスをなくしておすそ分けをする」ということを違う表現を検討したい ・人通りが少ない場所だったので、立ち寄る人も少なかった。 |

7 株式会社ナフコ・日本防災士会(福岡県支部) 【学ぼう防災×エコライフ】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ・来場者に展示品等を通して、命を守るために必要な防災用品を学んでもらい、日ごろの生活の中で防災準備、ローリングストックができていないか、もしもの時の行動を知ってもらう事。また、高齢者、ペットの防災を考える機会ができた。 ・ホームセンターだけでなく、日本防災士様と一緒に考えることが、今後の活動をより有意義なものにしていくこと。 |
| 出展の内容 | ・防災バックを準備しよう ・災害時の食は、どれくらい必要か、家族を守るためにはクイズ形式 ・伝言171ダイヤルのご案内・地域防災に向けた今後の取り組み計画など |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になったとともに、身近にできる取組を知ってもらうことができた。 ・来場者から、防災意識が足りているか、準備はできているかや、当社と防災士さまの取組に驚かれたお客様も多くいたので、今後の活動の参考になった。 ・近隣ブースと交流を深めることができ、エコライフステージをきっかけに、勉強し、連携した取組の可能性はある。 |
| 今後の課題と展望 | ・今回、クイズと体験型のイベント強化し、今後はそういった楽しみながら防災する取組を検討していきたい。 ・連携できるようなNPOや、地域防災訓練などを検討したい。 |

8 労働協同組合 ゆうあい福岡 【古着を通して国境を越えた子育て支援】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | カーボンニュートラルについてクイズを通して知ってもらう。衣類をリユースすることがカーボンニュートラルにつながることを知ってもらう。古着でパキスタンの子ども支援ができることを伝える。 |
| 出展の内容 | ・カーボンニュートラルクイズ ・リユース衣類の販売 |
| 今回の成果 | 来場者にカーボンニュートラルとファイバーリサイクル運動について伝えることが出来た。 |
| 今後の課題と展望 | 若い方によく話を聞いてもらえたので、幅広い年代の方に出会える場に出て行って運動を伝えていきたい。 |

9

イオン九州株式会社 【ペットボトルキャップでアップサイクル工作】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・ワークショップを通じて分別や3Rの大切さをあらためて考えていただく機会にする。 ・ものを大切に使うこと、捨てる前に「捨てる」以外の方法を日ごろの生活の中でも意識していただけるきっかけにすること。 |
| 出展の内容 | ・いつもは捨てられてしまうペットボトルキャップを使ってミニクリスマスツリーを作る |
| 今回の成果 | ・ペットボトルキャップがミニクリスマスツリーに変身することをきっかけに、工夫次第でまだまだ「使える」ことに気づいていただけた。 ・弊社のペットボトルキャップ回収の取り組みについても注目していただく方があり、よい機会になった。 ・地域のお客さまと直接触れ合える貴重な機会になった。 |
| 今後の課題と展望 | ・多くの方に弊社の取り組みを知っていただきたい反面、ワークショップ形式ではたくさんの来場者を相手にするのは難しい。 ・ワークショップで楽しみながらも、取り組みも知っていただける方法を検討したい。 |

※小間番号10番は欠番です。

11

北九州市環境学習サポーターの会 【遊んで学ぶ環境教室】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | 3Rの大切さ及びエネルギーの大切さを知ってもらう |
| 出展の内容 | ・発電カーレースの実施(自分のエネルギーを電気エネルギーに変え車を動かすカーレースに参加) ・エコ工作の実施(不用となった紙などを利用して星のアクセサリー、エコバッグなどのエコ工作を実施してもらう) |
| 今回の成果 | ・親子での参加が多く、エネルギーの大切さや不用な素材から星のアクセサリーやエコバッグなどにリサイクルされるのを実感したと思う。 ・環境ミュージアムを知ってもらったと思う。 |
| 今後の課題と展望 | 小さい子供に対するアクティビティの開発 |

12

公益財団法人 古紙再生促進センター 【古紙(使い終わった紙)の分別ゲーム】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・来場者に射的・分別ゲームを実施いただき、楽しみながら身の回りにある古紙の分別・リサイクルについて学んでいただくため ・雑がみ回収袋を配布し、ブースで学んだことを家庭でも実施して頂く機会とするため |
| 出展の内容 | ・射的台を用いた古紙の射的ゲーム ・射的で落とされた古紙を分別いただく分別ゲーム |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に紙リサイクルや雑がみについて知っていただく機会となった ・ノベルティとして参加いただいた来場者に雑がみ啓発袋を配布することで、家庭でも分別を行うきっかけを提供することができた ・近隣ブースとの交流を深めることができ、様々なワークショップや啓発方法について知ることができた |
| 今後の課題と展望 | ・ゲームをメインに出展したことで多くの子どもたちに楽しんでいただけた。一方で、ブースで楽しんでもらうことで終わるのではなく、家庭でも実施いただけるような啓発・仕掛けを考える必要がある ・ブースの広さに対して、出展物品や来場者が多かったため、スムーズな出展方法を検討する必要がある |

13

特定非営利活動法人 空き缶基金 【『感謝の缶』で好奇心と夢を育もう!!】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ・スチール缶の遊びや冊子(マンガ形式のリサイクルデータ)の配布を通じた資源リサイクルの啓蒙活動 ・空き缶を感謝の言葉を伝える道具とし、メッセージ入りのオリジナルミニボトル缶を作製していただく。(タイムカプセル缶として小学校の卒業生へ提供を継続中。R7年度は5校予定。) |
| 出展の内容 | ・メッセージ缶の作製 来場者に感謝の言葉や夢・目標などのメッセージを書いて封入後、各自持ち帰って頂く。 ・空き缶を活用したゲーム・資源リサイクルの啓蒙活動 スチール缶リサイクルシート、冊子の配布 |
| 今回の成果 | ・飲料済み空き容器の遊びを取り入れながら、磁石とスチール缶の関係を小さなお子さんにも知っていただく機会ができました。 ・卒業生へのタイムカプセル缶として提供している団体ですが、今回、イベント独自の催しとして別途メッセージ缶を導入しました。様々な年代の来場者に書いていただき、他者への感謝の言葉や、夢・目標などのメッセージを封入してオリジナルのミニボトル缶を作り上げ持ち帰っていただきました。 |
| 今後の課題と展望 | ・メッセージ缶について メッセージ用紙を入れた後に、ボトル缶底蓋を巻き締めて完成缶にする案を考えたが、巻き締め機械の動力使用の段階でイベント主旨に添うことができずに断念しました。(今回は完成したボトル缶(巻き締め後の缶)を準備)次回以降、使用可能な動力を検討して、来場者にボトル缶そのものの製造も一緒にできる催しにしたいと考えています。 |

14

北九州市立大学KITAQキャンパスSDGs×KAMIKURU 【みんなで創るエコの森～紙～】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・クイズや、アップサイクル品の展示、配布を通じて、来場者の方のESDへの関心度を向上させ、身近な日常生活において、持続可能性について自発的に考え、行動する人を増加させること。 ・日ごろから積極的に環境活動に取り組む市民・NPO・企業・学校・自治体などの取組を多く学ぶことができる貴重な場であったこと。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・クイズにまつわるイラストが描かれたカードの神経衰弱 ・紙に関する環境問題や、紙のリサイクルに関する問題についてのクイズ ・古紙のアップサイクル品の展示や配布 ・来場者のESDに関する意識調査 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢の方まで幅広い世代の方が多く楽しみながら、環境問題について考えていただけた。 ・来場者の方の日頃のリサイクル方法など、エコな取組についてゲームや、アンケート調査のおかげで知ることができた。 ・主に北九州市立大学内で活動する本プロジェクトにとって、学外の方に自分たちの活動を広める良い機会となった。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsのマークなど環境問題等に関心のある市民の方が多く、私たちのブースや活動に興味をもっていただけたので、今後は私たちの活動やESDの重要性などをさらに広めるために学外でのイベント参加やワークショップの開催に取り組んでいきたい。 |

15

北九州市立大学 KITAQキャンパスSDGs × 株式会社タカギ 【みんなで創るエコの森～水×プラ～】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代に向け、身近な遊びを通じ、プラスチックごみ問題やリサイクルの大切さを楽しく学んでもらうこと。 ・輪投げやクイズといった体験型の企画を用意し、環境問題を「自分ごと化」してもらうきっかけを創出すること。 ・地域の環境意識向上に貢献すること。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホースの廃材を活用した輪投げ ・プラスチックごみやリサイクルに関するクイズ ・リサイクル品の展示 ・キャップ回収 ・景品として活性炭の消臭剤を配布 ・来場者のESDに関する意識調査 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が来場してくださり、多様な方々と交流することができた。 ・初めての出展を通じ、発信の難しさや伝え方の工夫を体感し、大きな学びを得る場となった。 ・学内だけでなく学外の方にも【KITAQキャンパスSDGs】について知ってもらえる機会となり、貴重な経験もできた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題としては、より多くの方に響く説明手法や環境行動に繋がる仕掛けづくりが挙げられる。 ・地域の団体や企業の方との連携も強化し、学生ならではの視点も活かしながら、持続的にエコ活動を発信できるよう発展させたい。 |

16

株式会社zen space 【食べられるサステナ！アクアポニックス体験】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の循環型生産システムである、アクアポニックスの仕組みを知ってもらい自然の循環を体感してもらうこと ・他の出展者とのコラボの機会がないか探索すること |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクアポニックスと水耕栽培の展示とメカニズム説明 ・来場者に向けた家庭菜園と魚飼育の実態アンケート |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・水の循環を展示するブースは目を引くコンテンツとなっており、多くの来場者に来ていただきアクアポニックスの仕組みを理解いただくことができた。 ・アンケートを取る中で遊休化した水槽を持つ世帯が多く、アクアポニックスの可能性を確認することができた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、展示を主とした出展目的としていたが想像を超える反響があり、「実際にアクアポニックスを導入したい」という方々の期待に応えることができなかった。 ・今後、このような出展機会があった際には来場者の要望に応えられる体制を構築していきたい。 |

出展者報告書 小間番号No.17~No.20

17

日本磁力選鉱株式会社 【わくわくパソコン解体ワークショップ】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・当社の概要、小型家電リサイクルの仕組みや重要性、二次電池の危険性や取扱いの注意事項を説明し、当社事業の取組み及び小型家電・二次電池リサイクルについて幅広い年齢層へ周知していくこと。 |
| 出展の内容 | ・プレゼン形式で当社の概要・リサイクルの仕組み重要性・二次電池の危険性説明 ・〇×理解度クイズ ・パソコン解体ワークショップ |
| 今回の成果 | ・来場者に当社の取組を知ってもらう機会になったとともに、小型家電の回収について(設置カ所チラシ配布)も周知できたため、回収量UPにも繋がる見込みです。 |
| 今後の課題と展望 | 当社の取組みについて幅広い年齢層に興味を持ってもらえるような、普及啓発の方法を検討する必要がある。 |

18

日鉄リサイクル株式会社 八幡プラスチックリサイクル工場(日本製鉄グループ) 【日本製鉄グループのプラスチックリサイクル】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | 日本製鉄グループが行っている「家庭から出るプラスチックごみのリサイクル」に関し、その処理方法および北九州市でのこれまでの実績等を市民の皆様理解いただくこと。 |
| 出展の内容 | ・製鉄の設備で、家庭のプラスチックごみがプラスチック原料に生まれ変わるまでの流れをパネルやサンプルで紹介 ・説明を聴いていただいた方への粗品進呈 |
| 今回の成果 | 弊社の手法は、プラスチックごみからプラスチックの原料等に100%リサイクルしていること、北九州市で2007年から処理を開始し、約8万トンの家庭からのプラスチックごみを引取り、リサイクル処理を行ってきたことなどを理解いただけた。 |
| 今後の課題と展望 | ごみの分別が親から子へ伝わり習慣化されることを目標に、非常に意味のある重要なことであると理解されるよう、よりわかりやすい説明方法を考えていきたいと思っております。 |

19

新明和工業株式会社 【日明かんびん資源化センター施設紹介】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・日明かんびん資源化センター施設のVTRとパネル展示にて説明。リサイクル工場の役割と日ごろからのごみの出し方の重要性について働きかけを行う。 |
| 出展の内容 | ・日明かんびん資源化センターパネルの展示 ・VTRにて施設内機械の説明とスタッフによる説明 ・環境〇×クイズ |
| 今回の成果 | ・来場者に日明かんびん資源化センターの役割を知っていただく機会となった。 ・環境〇×クイズは大変好評を頂き、子供達も環境について学ぶ機会にもなった。 |
| 今後の課題と展望 | ・環境に対する関心を若い世代、子供たちに興味を持っていただけるような活動は継続して検討していく必要があると感じた。 |

20

MHI 福岡株式会社 【鉄道パーツをリメイク！一緒に「鉄を語れ」】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | 鉄道パーツのリサイクル事業です。会場でリメイク体験もご用意！ |
| 出展の内容 | 電車の「要部検査」は4年毎または「60万キロ走行時」のどちらか。「全般検査」では8年毎。この廃棄や交換パーツを、アップサイクルして再生する「リメイク企画」。ゴミを出さない、捨てないリサイクル企画です。九州の地を駆け抜けた【実物の列車パーツ】を使用。できるだけ「ゴミを出さない」ことを目指すJR九州とのSDGsを見据えた共同プロジェクトとしてご紹介。 |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に取組を知ってもらう機会になった。身近にある弊社取組を知ってもらうことができた。 ・来場者から、「エコ」や「サステナブル」に対して、どのように感じているかや、日頃取り組んでいること等の意見を直接聞くことができ、今後の活動の参考になった。 ・近隣企業と交流を深めることができ、エコライフステージをきっかけに、連携した取組を始めることとなった。 |
| 今後の課題と展望 | ・近隣企業と交流を深める機会にもなり、新しい企画も生まれそうなので、紫川側の企業などとも接する機会が欲しかった。 |

出展者報告書 小間番号No.21~No.24

21

日明環境センター 【すごいぞ！強いぞ！ごみ収集車！】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集車への積み込み体験を通して、ごみについて関心を持ってもらう ・海洋プラスチック問題やリサイクルについての周知 ・ごみの減量化、マナーアップの促進 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集車の展示、積み込み体験 ・ごみ問題についてのパネル展示 ・災害支援写真展示など |
| 今回の成果 | 子どもたちを中心に、多くの人のごみの積み込み体験を行い、楽しみながら環境学習を実施することができた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの積み込み体験を通して、子どもたちにも「ごみ」について関心を持ってほしい。 ・全世代の人たちに環境問題に関心を持ってもらいたい。 ・ブース内の展示品を、より多くの人に見てもらえるように取り組みたい。 |

22

福岡県環境部環境保全課並びに(一社)福岡県冷凍空調工業会 【「改正フロン排出抑制法」って知ってる？】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務用冷凍空調機器のフロンを回収した証明書がないと廃棄出来ない事を知っていただく。 ・地球温暖化の要因であるフロンであるが、空調・冷凍には必要である事を理解いただく。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・フロンについて学んでいただく漫画のパネルを展示 ・来場者への簡単なアンケート及びくじ引き |
| 今回の成果 | 展示のパネルに興味を持って、フロンについて理解を深めていただけた印象。 |
| 今後の課題と展望 | フロンの問題だけではなく、空調・冷凍の業界に関心を持って頂く展示方法を考えたい。 |

23

北九州市(都市交通政策課)・九州工業大学・福岡北九州高速道路公社 【使おう公共交通、かしこくマイカー利用】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・過度な自動車利用から公共交通への転換を促すためのPR ・日常の交通行動に関する動向調査 ・環境にやさしい道路である都市高速の適切な利用の周知 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用促進とモビリティマネジメントに向けたパネル展示 ・VR体験(都市高速作業現場等の仮想体験) ・アンケート(公共交通の利用意識について) |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用意識に関するアンケートの回答者:398 ・都市高速に関するアンケートの回答者:542 ・ノベルティ配布を通じた公共交通や都市高速の利用促進 |
| 今後の課題と展望 | 公共交通と都市高速のPRができたので、来年度も引き続き継続したい。 |

24

北九州市上下水道局下水道計画課 【北九州市の下水道における取り組み】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ブース来訪者に、安全で快適な生活環境を支える下水道の役割や重要性を伝えるとともに、下水道事業に興味をもってもらうきっかけづくりを行うため。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の紹介(パネル展示) ・下水道管渠検査ロボット「もぐりんこ」の操作体験 |
| 今回の成果 | 家族連れをはじめ幅広い年齢層の方々と出展物を通して交流し、市民の方の要望(下水道の取組に関して力を入れてほしいこと・知りたい情報など)を把握することができた。 |
| 今後の課題と展望 | より一層、下水道事業に興味をもってもらえるようなブース出展を計画したい。 |



25

北九州市上下水道局水道部水質試験所 【もっと知ってほしい水道水のこと】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・水道水がどのようにして、水源から蛇口までとどけられるかを知ってもらう。 ・浄水場で水道水がどのように作られるか理解してもらう。 ・水源林の大切さについて知ってもらう。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に浄水場で水を作る方法を用いて、来場者に遠賀川の水をきれいにする実験を体験してもらう。 ・水源涵養林のパネルを使って、水源林の保全について説明する。 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者に河川の水がきれいになる様子を実験で見ってもらうことで、水道水をきれいする方法を理解してもらえた。 ・水をきれいにして水道水を作るためには、薬品などが必要なことを説明し、川やダムの水質を保全することへの啓発につながった。また、川やダムの水質保全には水源林が大切な役割を果たしていることも理解いただいた。 |
| 今後の課題と展望 | <p>これからもお客様に、安全で安定した水道水の供給を行うとともに、持続可能な開発目標の実現に向けて、事業に取り組んでいきたい。</p> |

26

日本郵便株式会社 九州支社 【日本郵便のCO₂削減の取組】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂削減のために、再配達を減らす取組みの一つとして、置き配を普及、勧奨するため。 ・EV車両の導入などの日本郵便におけるCO₂削減の取組みを紹介するため。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・置き配用のバック(OITETTE)の展示、紹介、チラシの配布 ・EV車両(四輪・二輪)の展示及び試乗 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの来場者の方に、置き配の利用勧奨、置き配用バックを紹介する機会となった。 ・EV車両に試乗しての写真撮影は、特に子供に好評で、弊社の取組みのアピールに繋がった。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の紹介を機に知っていただいた方、興味を持っていただいた方々に、実際に置き配を利用していただくための仕組み作りが必要。 ・次回は、アンケートなどにより実態調査を行うことも検討して行きたい。 |

27

北九州市環境局グリーン成長推進課 【いつもの当たり前、実はそれが脱炭素！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・宅配便の再配達防止、ノーマイカー・エコドライブの推進など、身近にできる環境に配慮した行動を紹介し、温暖化対策につながる行動を実施いただけるよう啓発を行う。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・宅配便の再配達防止などに関するパネル展示 ・毎日の暮らしの中で取り組んでいる、または今後取り組んでみたいと思う環境に配慮した行動を付箋に書いて宣言いただく。 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの来場者に様々な身近にできる環境に配慮した行動を知ってもらうことができた。 ・また、来場者には親子も多く、親と子どもと一緒に環境について話し合う機会を創出できた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した行動に対する「我慢」「負担」というネガティブなイメージを払拭し、市民一人ひとりが普段の生活の中で楽しみながら、より積極的に環境に配慮した行動を実践したくなるような広報啓発を検討していきたい。 |

28

ヤマト運輸株式会社 北九州主管支店 【宅配便を1回で受け取ろう！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・再配達削減に向けて、宅配便を1回で受け取るための方法を知っていただく。 ・EVトラックの展示を通して、環境への取り組みを紹介する。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・クロネコメンバーズの登録とアンケートへの回答で抽選会を実施 ・EVトラックの展示や制服着用体験 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・クロネコメンバーズの登録とアンケートへの回答で抽選会を実施し、2日間で214人が参加。 ・アンケート結果より、自宅以外の受け取り場所を知っている方は97.2%と多様な受け取り方法が定着していた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・再配達によるCO₂排出量を削減するため、自身の暮らしに合った受け取り方法に関するさらなる周知と、クロネコメンバーズのサービスの利用促進に努める。 ・環境問題に対する取り組みを紹介し、荷物の配送以外の分野に関しても認知度を高める。 |

29

グリーンコープ生協ふくおか 北九州地域 【カーボンニュートラルの取り組み！】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンコープのカーボンニュートラルの取り組みを伝えていく。 ・箸づくり、ヒノキ特有の香りやぬくもりに触れることで、自然素材の魅力・心地よさを感じ、木を使う文化への関心を高める。 ・グリーンコープ商品のPR |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンコープのカーボンニュートラルの取り組みの紹介 ・木育「ひのきでmy箸づくり」 ・びん牛乳の試飲 ・アンケートの記入でガラポン抽選 ・EVトラックの展示 |
| 今回の成果 | 来場者にグリーンコープの取り組みを知っていただくことに繋がった。イベントを切っ掛けに組合員の新規加入に繋がった。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・箸作りは時間が掛かり参加者が限定されるので企画の変更を検討したいと思います。来場者が少なく感じた。人が集まる企画を検討して欲しい。 |

30

北九州市交通局 【EVバス展示会】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの普及 ・公共交通機関の整備 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・100%再生可能エネルギーで動くEVバスの展示 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを活用したEVバスのPRができた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、エコな公共交通であるバスをPRしていきたい。 |

31

エフコープ生活協同組合 【エコ診断をしてネイチャーポジティブに挑戦】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | 日々深刻化している地球環境問題に関して考えるとともに、自分の生活を見直し、今日からできることを学んで帰ってもらう。エフコープの環境に関する取り組みを知ってもらう。 |
| 出展の内容 | 自分の生活をエコ診断。診断結果を4つのグループに分けて、ブース内に掲示。ネイチャーポジティブを学びながら、生活の改善点や環境について考える。 |
| 今回の成果 | エコ診断やアンケート回収数は700。【各世帯1回答】という条件を付けたため、家庭内でのエコ生活に関するリアルな現状把握ができた。 |
| 今後の課題と展望 | <p>エコ診断の結果、環境問題について考えていない人が【参加者全体の20%】という結果だった。この結果は、現在の地球環境問題が深刻化している原因の一つであることを重く受け止めるべき。今後は、このタイプの人たちに向けて「環境について考えるキッカケやタネ」企画を提供していく必要がある。</p> |

32

響灘菜園株式会社 【肌荒れトマトでSDGs！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・小さな傷やガサ肌で出荷規格を満たせず、出荷出来ないトマトをお値打ちに販売することで食品ロス削減する。 ・規格外青果を購入頂くことで、ご自分でも出来るSDGs活動に繋げて頂く。 ・創立20周年を迎える響灘菜園の認知度を高める。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・規格外トマトの販売。 ・規格外トマトを原料使用したトマトのおんがえしカレーの販売。 ・グループ会社であるカゴメ製品の販売。 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同イベントでトマトを購入したというお客様もあり、ヘビーユーザーの定着を感じた。 ・トマト市場価格が高騰しており、安価でたくさんのトマトが買えることを喜んでいただいた。 ・トマトのおんがえしカレーを巡る活動をご存じの方も居られ、励ましの言葉を頂いた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・規格外品の発生を極小化したいが、近年の天候不順にて難しさが増している生産者側の悩みもご理解頂けるような学びに繋げる仕掛けが要ると感じた。 ・なぜトマトの値段が上がっているのか、その市場原理について考えを巡らせて頂くために有効な機会にもしたい。 |

33 一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟北九州地区 【みんなでチャレンジ！環境問題ってな～に？】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者にクイズやワークショップ等を通して、楽しみながら海洋ゴミについて学んでもらい、日ごろの生活の中で環境に配慮した行動をしてもらえるように働きかけること。 ・他の出展者の取組を学び、今後の活動をより有意義なものにしていくこと。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・近年の活動の紹介 ・環境に関するパネルの展示や中高生による説明 ・環境クイズ ・廃プラスチックで出来る、貼り絵・クラフトや簡単ゲームの紹介 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になったとともに、身近にできる取組を知ってもらうことができた。 ・近隣ブースと交流を深めることができ、エコライフステージをきっかけに、仲間意識を持てた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回、来場者の方から直接意見を聞き、普段の生活の中でできることを実践できるような、取組を提供できるようもっと内容を深めていきたい。 ・将来を担う子どもにもっと興味を持ってもらえるような、アピール方法を検討していきたい。 |

34 霧丘校区環境衛生協会 【いま 自分にできることからはじめよう！！】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | 地域イベントとその中で取り組んだ内容を紹介し行動変容を促すきっかけづくり、他の出展者の取り組みを学び今後の地域イベントの発展に繋げるため |
| 出展の内容 | 生物多様性の指標となる「カエル」で遊ぶことで関心を持つきっかけづくり、生物多様性の説明パネル・クイズ、エシカル消費やSDGsの視点から生物多様性を守る働きかけを紹介 |
| 今回の成果 | 子どもが「折り紙のカエル」で遊んでいる間に、大人には「エシカル消費」や「SDGs」といった視点から「生物多様性」について考えてもらえる時間が作れた。 |
| 今後の課題と展望 | 中学生や高校生の世代の来場者が少なかった(主に小学生以下だった)ので、詳しい内容の話がしづらかった。幅広い世代に向けて発信する工夫が必要と感じた。展示内容よりも参加記念品目当ての来場者もいたので、記念品に左右されることなく、シンプルに、多くの人に関心を抱かせる方法を考える必要がある。 |

35 菖蒲の花の会 【私にできること、身近なことから楽しく！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者にワークショップ等を通して、楽しみながらSDGsについて学んでもらい生活の中でSDGsについて配慮した行動をとってもらえるように働きかけること。 ・工夫した作品を通して、私にできる取組の紹介 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについてのパネルの展示やスタッフによる説明 ・ふだんの生活で実践できるエコワークショップ |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になったとともに、身近にできる取組を知ってもらうことができた。 ・来場者から、SDGsに対して、どのように感じているかや、日頃取り組んでいること等の意見を直接聞くことができ、今後の活動の参考になった。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回、新しい方の参加を頂き、もっといろんな世代への理解を頂く工夫に取り組みたい。 ・次世代をになう若者やこどもにSDGsへの興味を持ってもらえる啓発活動を検討していきたい。 |



36

地球温暖化を考える北九州市民の会 【『今、私にできること語り合おう』】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ・来場者にクイズやワークショップ等を通して、楽しみながら環境について学んでもらい、日ごろの生活の中で環境に配慮した行動を自然と選択してもらえるように働きかけること。 ・リユース・リサイクル商品紹介 |
| 出展の内容 | ・環境に関するパネルの展示やスタッフによる説明 ・環境〇×クイズ ・畳のへりなどのリメイク作品 |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になったとともに、身近にできる取組を知ってもらうことができた。 ・来場者から、「エコ」や「サステナブル」に対して、どのように感じているかや、日頃取り組んでいること等の意見を直接聞くことができ、今後の活動の参考になった。 ・クイズを通して現在の実状を学び合えた。 |
| 今後の課題と展望 | ・今回、新しい世代の方の参加を頂き、もっと若い世代への理解を頂く工夫に取り組みたい。 ・次世代をにやう若者やこどもに環境への興味を持ってもらえる啓発活動を検討していきたい。 |

37

ゆずり葉の会 【まだまだ使える「我家のお宝！」】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ものを大切に、分かち合い、環境を考え賢く暮らしにつなげる |
| 出展の内容 | すぐに使える生活用品、雑貨をお手軽価格にて提供 |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になったとともに、身近にできる取組を知ってもらうことができた。 ・遠くのブースを見に行くことができなかったが、近隣のブースの取り組みを知ることができ、今後の取り組みの参考となった。 |
| 今後の課題と展望 | ・多世代で取り組むことが必要であり、現在模索しているところである。今後、他の団体ともつながり、広がりを進めていきたい。 |

38

北九州市女性団体連絡会議 【もったいない精神でつながる市民の環】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | 市民と交流しながら、環境への意識を高める |
| 出展の内容 | ・物販(リサイクル商品等) ・手作りの販売 ・使用済みチラシ等を使った恐竜折り紙作成 |
| 今回の成果 | ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になった。 ・「エコ」や「リサイクル」に対する重要性を知っていただくことができ、今後さらなる活動の展開を考えるきっかけとなった。 |
| 今後の課題と展望 | ・今回、若年代の参加が感じられず、さらなる広報啓発活動が必要である。 ・日頃からの取り組みが必要であるため、今後もさらなる啓発活動を続けていきたい。 |

39

若松秋桜会 【SDGsの輝く未来は今、ここから私から！】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ・気候変動の危機が実感として迫る最近です。誰かではない、まず自分一人から出発する。その具体的な身近なエコライフの取り組みのアイデアや知恵を来店者の皆様と語り合い、楽しく実践行動できる様、私達のブースは対話と行動。その為に年間活動して来たことを地道な継続こそサステナブルシティの一市民団体として訴えて行きたい。 |
| 出展の内容 | ・展示:SDGsの17項目に取り組む若松秋桜会の活動をパネルと写真で紹介 ・販売:女性の知恵とアイデアで手作りしたリユースのマイバッグ(洋服・着物・ネクタイ・畳の縁・カーテン生地・生活の中で不要物全て etc.) ・ワークショップ:松ぼっくりのクリスマスツリー・端布とかまぼこ板で花びん敷き etc. ・アンケート:北九州市の取り組み・SDGsの内容や、自分の取り組み ※ペーパーレスで実施 |
| 今回の成果 | ・展示会場がクロスロードに移ったことや、11/8(土)は晴天であったことで昨年以上の方が来店、そして展示品や販売品への関心の高さとカーボンニュートラル未来都市を目指す1人1人の日常生活のあり方等楽しく対面対話ができたと。 ・海洋プラスチック(マイクロ)ゴミ減に向けて、販売品の包装はプラではなくカレンダー、包装紙で袋を作ったりし活用。アンケート用紙もペーパーレスで実施。 |
| 今後の課題と展望 | ・当会のスタッフは女性のグループなので、その個性を活かしながらの出展ですが、母親と一緒に来店する若い人達、男性や子供達が関心を持ってくれる販売品を考える(今回は余り毛糸を集めて作ったパクパク君が好評でした)。 ・ワークショップは楽しく喜ばれるものばかりですが、ブースが狭いので呼びかけ方に苦慮した(人数制限)。 |

40

北九州市婦人会連絡協議会 【SDGs推進・被災地支援・人の和づくり】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> 被災地に対し、いつまでも関心を持ち、助け合いのできる社会へ 参加することで、周りからも多くを学び、今後の活動につなげる 体験コーナーを設け、小・中学生等若い人に環境問題への興味と意識を上げたい 社会貢献や地域貢献に結びつける |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 石巻市の三陸わかめ・わかめドレッシング販売(被災地支援) 大福餅販売(唯一利益あり) 体験コーナー ①指編みエコタワシ(12名) ②新聞紙でつくるスリッパ(31名) |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> 大福餅の販売は初日で2日分売りきれた。 三陸わかめも被災地支援に賛同し、美味しいからと毎回購入される方がいる。 指編みエコタワシは、今回も小学生の体験。横で笑顔で見守る親と出来上がったタワシを見せ笑顔になる子ども達に、指導する側も思わずニッコリ！エコライフステージ参加のよいお土産にな～れ。 スリッパは用途を説明し、多くの方に声をかけ、小学生から高齢者迄に好評。新聞紙もコースやカラーを上手に使い楽しめること発見されていた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> 開催場所の拡大で人の流れに変化あり。中心が変わった感あり。 子ども達にもっと楽しんで欲しい。エコに関する遊びがもっと欲しい。 若者(学生)がSDGsに取り組む姿がもっと増えて欲しい。 ミドリムシのコーナーは学生が呼びかけ、にぎわっていた。 応援隊ができるといい。 昼食時、キッチンカーが目に入らずとまどった。 |

41

Etica 【「フェアトレードで広がる笑顔の輪」】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | エコライフステージを通して、フェアトレードのことやフェアトレード商品の良さについて知ってもらい、フェアトレードをより深く、より多くの人に知ってもらうようにすること。 |
| 出展の内容 | フェアトレード商品の販売、またフェアトレードコーヒーの販売 |
| 今回の成果 | 普段買って貰えないようなフェアトレード商品も、たくさん買って頂けた。また、普段学内で活動しているため、地域の方や北九州市立大学の卒業生の方などと交流することが出来るとても有意義な時間となった。何よりフェアトレードを広めるきっかけとなった。 |
| 今後の課題と展望 | フェアトレード自体のことや、商品についてお客様から聞かれた際に、どう説明したら良いか、また単純に自分達が分からないこともあったので、学生側がきちんと説明できるようにしなければならないと感じた。 |

42

福岡県立ひびき高等学校 【ミドリムシは地球を救うことができるのか？】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ミドリムシが食品やバイオ燃料として活用され、環境に役立つ生物であることを多くの人に理解してもらう。 生徒同士の協働や地域の方との対話を通して、環境に関する知識と視野を広げ、自己の考えを深める機会とする。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ミドリムシの栄養価や食品利用、新しいバイオ燃料としての可能性を紹介する。 光学顕微鏡でミドリムシを観察してもらう。 アンケート協力者にくじを引いてもらい、当たりの方へ景品(からだにユーグレナ)を提供する。 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> 772名にミドリムシの可能性を伝えることができ、大きな反響があった。 来場者からは「もっと多くの人に広めてほしい」などの感想が寄せられた。 生徒たちも多くの方と関わる中で達成感を感じ、学校では得られない経験をすることができた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりが展示内容を分かりやすく説明し、質問に対応できる力を高める。 アンケート内容を分析し、次年度の展示や学習活動に反映させる。 |



43 北九州市立大学地域創生学群ESDプロモート実習 【あそんでECOる！きたきゅ～あきまつり】

- 出展の目的
- ・日常生活を送る中で発生する身近な問題をクイズを通して身近なものに感じてもらう。
 - ・自分で考えたことは、これから先も記憶に残りやすいと考えたため、「宣言カード」を記入してもらうことで、これから先自分でも行動できそうなことを明確にしてもらう。
- 出展の内容
- ・フードロスを中心としたO×クイズ
 - ・クイズの後に、理解度と自分にできることなどを「宣言カード」に記入してもらう
- 今回の成果
- ・日常生活の中にある身近な問題について知ってもらうことができた。
 - ・1日目の反省を踏まえて、子供用と大人用でクイズの難易度を分けたり、レイアウトを変更したりできた。
 - ・他の出展者の方と繋がりを築くことができた。
- 今後の課題と展望
- ・小さい子に宣言カードは難しすぎて、保護者の方が大変そうにしている場面が見られたため、理解度アンケートをシールにしても良かった。
 - ・ブース内の動線が分かりにくく混雑していたため、もっと簡素化するべきであった。
 - ・親子連れが多く来場する傾向があるため、今後はクイズなどのレベルを来場者に合わせる必要があると考えた。
 - ・対象設定をもう少し考えた方が良かったのではないかな。

44 株式会社井筒屋・日本航空株式会社 【家庭から出る食用油が航空燃料(SAF)に大変身!?】

- 出展の目的
- 株式会社井筒屋は脱炭素社会の実現およびサステナブルライフの推進の一環として、日本航空株式会社(JAL)が推進する航空機の脱炭素化プロジェクト「すてる油で空を飛ばう」に賛同し、国産SAF原料となる家庭から出る廃食用油の回収開始を周知PRするため。
- 出展の内容
- ・各日先着100名に回収ボトルをプレゼントし、なくなり次第終了。その後は有料(参加費:220円)にて販売。
 - ・11月9日(日)13時45分～13時55分、武内市長による廃食用油回収タンクに注ぎ込みの実演。
 - ・JAL CAによる廃食油回収プロジェクトのチラシ配布やPR。
- 今回の成果
- ・多くの来場者にこの度の取組を知ってもらう機会になったとともに、一人ひとりでもできる取組を知ってもらうことができた。
 - ・来場者から、「エコ」や「サステナブル」に対して、どのように感じているかや、日頃取り組んでいること等の意見を直接聞くことができ、今後の活動の参考になった。
- 今後の課題と展望
- ・当該イベント会場内で来場者の回遊及び滞留性を高める企画の提案。
 - ・出展者等が交流・連携して取り組める企画の検討。

45 MOKUMOCO 【木育ワークショップ】

- 出展の目的
- ・来場者について知って、触れて、つくる体験をしていただくことで、木の不思議や私たちが生きていくために必要な木や森の存在を知っていただく。より身近な存在に気づいてもらう。
- 出展の内容
- ・木を用いた3種のワークショップ(有料) ・木の香り比べ ・木の重さ比べ ・木の楽器 ・木のおもちゃ
 - ・チラシを使ったエコツリーづくり ・活動紹介
- 今回の成果
- ・多くの来場者に自分たちの取組を知ってもらう機会になった。
 - ・近隣ブースと交流を深めることができ、環境に関して学ぶことと楽しむことができ、これからの私たちのブースでの伝え方を考えるきっかけとなった。
 - ・木のおもちゃや他の体験を通して、参加した親子が交流するきっかけとなった。
- 今後の課題と展望
- ・掲示はしていたが、今後は紙芝居形式でクイズも交えながら木育を伝えるような方法をとっていきたい。
 - ・有料を作っていたが、無料で提供できるものに統一したほうがよいのか。
 - ・見本を欲しがることが多かったため、販売できるものの準備も必要に感じた。



46

北九州市環境局循環社会推進課 【ごみの分別やリサイクルについて学ぼう！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | ・ワークショップやクイズを通じて、ごみの分別やリサイクルについて学び、それを日々の生活に実践してもらう。 ・食品ロス削減対策を検討するため、アンケートを実施して実態を把握する。 |
| 出展の内容 | ・生ごみコンポストの実践に向けたワークショップの実施 ・食品ロスに関するアンケートによる実態把握と、家庭で実践できる取り組みの紹介 ・古紙リサイクルの啓発を目的とした雑がみ分別クイズの実施 ・プラスチック問題やリサイクルに関するパネル展示および再生プラスチック製品を用いた啓発活動 |
| 今回の成果 | ・来場者に対して、啓発活動を行うことができた。 ・アンケートを通じて、市民の食品ロスに対する意識や行動を把握することができた。 |
| 今後の課題と展望 | ・啓発活動により知識は習得できたが、行動変容に結びつけることが課題である。今後もこのようなイベントを通じて継続的な啓発が必要である。 ・食品ロスについては、アンケート結果を基に削減に向けた対策を検討する。 |

47

北九州市ほたる館 【守ろう！北九州のホタルと生き物たち！】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ・来場者にホタルを中心とした市内に生息する生き物について知ってもらうこと。 ・当施設というものが存在するということを知ってもらうこと。 |
| 出展の内容 | ・生き物の生体展示 ・スタッフによる説明 |
| 今回の成果 | ・来場者に生き物について興味を持ってもらうきっかけになったと感じる。 |
| 今後の課題と展望 | ・今後とも市内の生き物について普及啓発を継続していく。 |

48

株式会社慶昇産業 【こねて学ぼう！油は捨てずにリサイクル】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | ・来場者に石けん作りを通して、楽しみながら環境について学んでもらい、日ごろの生活の中で環境に配慮した行動をしてもらえるように働きかけること。 |
| 出展の内容 | ・環境に関するパネルの展示やスタッフによる説明 ・来場者への環境に関する意識調査 ・石鹸作り ・廃油回収 |
| 今回の成果 | ・来場者からエコについてどう感じているかアンケートを通して聞くことができた ・地域の方と身近なお話ができ企業周知につながった |
| 今後の課題と展望 | ・子どもたちにリサイクルに興味を持ってもらえる活動をしていきたい ・廃油がリサイクルできることの周知をしていく活動をしていく |

49

高稜高等学校 【伝統×サステナブルを楽しもう！】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | 小倉織のハギレを利用したお守りづくり、カリモク家具の廃材を利用したマグネットづくりを通して、3Rを知ってもらう活動を行う |
| 出展の内容 | ワークショップイベント |
| 今回の成果 | このイベントに参加していることを事前に周知しておくことの大切さを学んだ。他の団体と繋いでいただき、企業と高校生の連携活動を新たにスタートすることができた。 |
| 今後の課題と展望 | ワークショップのメニューをもっと増やしていく必要がある。どの世代にも楽しんでもらえること、知ってもらうことを念頭に置きながらどんどんイベントに参加していく。 |



50

北九州コンポスト部 【ベランダで楽しくコンポストをやってみよう】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様なコンポストを実演展示。市民の皆様のそれぞれの循環生活に合った、コンポストを知っていただく。 ・「自分の生活圏やライフスタイルに合った循環生活」をコンセプトに、ライフスタイル全体でどのような取り組みができるか?を紹介。 ・家族で楽しめる循環生活の入り口として、循環素材を活用したワークショップにて、楽しさを体感していただく。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・LFCコンポスト、ベランダ de キーロの2種類を実演展示。・民間で運営している「コミュニティーガーデン」や既に循環に取り組んでいる施設や団体をマップで紹介。 ・直接の電力を使わないIoTモジュールを活用して、環境配慮型テクノロジーを導入(NFC技術)。 ・落ち葉アートのワークショップを実施。 ・お試しとして、キーロお試しセットを販売。 ・コンポスト部(全国ネットワーク)メンバーが製造や販売している環境配慮型商品の販売。 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンポストだけではなく、ライフスタイル全体を提案したことにより、循環生活自体を「楽しむ」ことを、来場者に知って理解いただけた。概ね好感触で、さらなる市民活動における資源循環への加速に寄与できると考える。 ・特に「コミュニティーガーデン」に参加したいという、概ね20～40代年齢層の方のお話があり、若い世代の方が、地域社会活動に関心が高いことがわかった。この結果を元に、コミュニティーガーデンの活動を拡張する。 ・Instagramを活用し告知及びリアルタイム投稿。LFC公式やコンポスト部の全国ネットワークを活用し、閲覧数8,000、リーチしたアカウント3,000を超えるものもあり、エコライフステージやっていたんを、全国へ発信できた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・提案の入り口である「落ち葉アートワークショップ」は、概ね好評。次年度も継続したい。一方で、ワークショップからコンポスト紹介の動線が弱く、次年度への課題である。 ・民間主導で運営しているコミュニティーガーデンの拡充の確信を得た。2箇所(小倉北区中島、都市型)(八幡西区黒崎田町、空き地活用)をマザー・ガーデンとして、コンセプト発信を強化して、来年度の来場者数増加を図る。 ・すなわち、次の1年間(R8)にて、より関わる市民を増やすことで、循環生活への入り口の敷居を下げる雰囲気と実績を積み上げる。 ・小学校運動会、起業祭、北九州市立大学祭(ひびきの)、福岡市環境イベントなどと重なり、来場者伸び悩み。「本当はいきたかった」という市内外(遠くは大阪府)の声もあり、時期については再考いただきたい。 |

51

北九州市コンポストアドバイザーの会 【さあ！ はじめよう生ごみコンポスト】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <p>家庭から発生する生ごみの資源化方法を市民に伝授することにより、市民が排出する一般ごみの内、生ごみを減量する機運を高めて、焼却ごみの減量に寄与する。</p> |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化容器実物の展示とコンポストアドバイザーの会の活動内容のパネル展示及び使い方の説明 ・コンポストへの興味についてアンケート実施 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの資源化に、興味を持つ市民が多い。アンケート回答者のほとんどが資源化に興味を示している。 ・自分の手でリサイクルが完結する、環境にやさしい活動であることを多くの来場者にお知らせできた。 ・同様の活動を行う団体が同じ場所に集まっていたことから会場内で交流ができた。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンポストアドバイザーの会は展示品が多いため、今回は展示ブースが狭く前方方向のみにしか窓口がないため複数の来場者が重なった時は展示品を使った詳しい説明が行いにくかった。 |



52

株式会社西原商事ホールディングス 【ReBitBoxで楽しく学べる分別体験！】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者に次世代型の資源回収ボックスを実際に見て、体験してもらうことにより環境への理解と参加意識を高めることが目的。 ・他の出展者の先進的な取組を学び、地域に根ざした持続可能な活動へとつなげること。 |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・Rebitボックスの展示 ・体験 ・来場者へのRebitポイント拡大に関する調査 ・分別クイズ×サッカーゲーム ・資源カードゲーム |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・Rebitボックス【資源回収BOX】をメインにブースづくりを進めていきました。今後北九州市内に設置予定としており、ポイントを付与する事が目的になります。その中で、ポイントがRebitボックス以外から考えられるものはないか？アンケート調査する事で、日頃身近なインフラである(公共交通機関・スーパー・コンビニ)でポイントが付与されれば利用されやすくなる事が今回の調査で勉強出来ました。 |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコライフステージの趣旨として、環境活動をする方を増やすことが目的だと思いますので、今後もイベント活動には積極的に取り組んでいきたいと思っています。・新たな取り組み・ツールが出来た際には認知していきながら、会社としてもより良いまちづくりが出来るように精進致します。 |

53

小原流折尾カルチャーセンター教室 【響灘ピオトープをいける】

| | |
|----------|--|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・響灘ピオトープの植物を身近に感じてもらう ・響灘ピオトープや自宅の庭など身近な植物でいけばなができることを知ってもらう ・空き瓶や牛乳パックを使用して気軽にいけばなができることを知ってもらう |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・響灘ピオトープ及び自宅の庭の植物を使用したいけばなの展示 ・響灘ピオトープ及び自宅の庭の植物を使用したいけばなの体験 |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・「響灘ピオトープってどこ?」「響灘ピオトープにもこんな植物があるんだね」などの感想があり、響灘ピオトープを知るきっかけとなった ・響灘ピオトープや自宅の庭の植物など身近な植物でもいけばなができることを伝えることができた ・多くの人が敷居が高いと感じているいけばなに対して、いけばな体験を通じていけばなの身近さを感じてもらうことができた |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の来場者も多く、複数の言語表記を併記していきたい。 |

54

響灘ピオトープ 【生き物の楽園・響灘ピオトープ】

| | |
|----------|---|
| 出展の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・響灘ピオトープの生態系や環境等について知ってもらう ・ネイチャーポジティブについて知ってもらう |
| 出展の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・響灘ピオトープやネイチャーポジティブについてのパネルを用意し、スタッフによる説明を行う ・「私たちのネイチャーポジティブ宣言」と題して生活の中で無理なくできることを付箋に書いて掲示してもらい、書いた人はくじ引きができる |
| 今回の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・他の出展者の方と情報交換できた ・ネイチャーポジティブについて知ってもらう機会になった |
| 今後の課題と展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・魅力のある展示や企画を検討する |



55

NPO法人SoELa 【マイアース響灘パッケージで環境を学ぼう】

- 出展の目的
- ・地球環境カードゲーム「マイアース」を通じて、子どもたちに響灘の生態系と地球環境問題について考えるきっかけを提供する。
 - ・併せて、親御さんに「マイアース」の仕組みを理解してもらい、教育的価値があることをアピールする。
- 出展の内容
- ・「北九州響灘スタートパッケージ」を主としたマイアースの体験会の開催。
 - ・SNSでのキャンペーンとして、マイアースのカードを模した「エコ宣言パネル」を設置。来場客には写真撮影をしてもらう。
- 今回の成果
- ・多くの子どもたちにブースに足を運んでもらい、マイアースを通じて地球環境問題について考えるきっかけを提供できた。
 - ・NPO法人SoELaとしてのキャンペーンと連動したこともあり、本ブースへの来客の動線を演出できた。
 - ・近隣ブースと交流を深めることができ、エコライフステージをきっかけに、連携した取組を始めることとなった。
- 今後の課題と展望
- ・環境イベントに出展する形だけでなく、自分たちで企業や団体協力のもとでイベントを作り、幅広い形で展開することも必要と考えている。
 - ・運営側の学生も次の世代が入って来れるような体制を整えていきたい。

56

日本カプトガニを守る会 福岡支部 【カプトガニの棲む海 曾根干潟を未来に！】

- 出展の目的
- ・曾根干潟が、生きた化石カプトガニの国内有数の産卵生息地であることをより多くの方に知っていただく。
 - ・曾根干潟が、生物多様性の宝庫であり、ブルーカーボンや水質浄化作用などの機能も持った、次世代に残すべき日本の宝であることを理解してもらう。
- 出展の内容
- ・カプトガニの卵から成体までの成長過程を示す脱皮殻等の標本や生態写真、1齢幼生、パネルを展示し、形態や生態、干潟の価値や役割等について、スタッフが説明
 - ・曾根干潟の生物多様性を紹介する、底生動物や水鳥、植物などの生き物写真の展示
 - ・干潟の生物オリジナル缶バッジ製作、折り紙、ペーパークラフトなどの体験コーナー
- 今回の成果
- ・昨年度も来場した親子が、リピーターとしてブースを探してやって来てくれたり、2日間続けて来場してくれた親子もいて、場所的なことも影響してか来場者は例年より少なかったが、来場者の関心の深まりは感じることができた。
 - ・ネイチャーポジティブや自然共生サイトについての啓発も若干ながらできたかと思う。
 - ・10代のスタッフ2名が初参加してくれたが、若者への啓発などで大変活躍してくれた。
- 今後の課題と展望
- ・来場者との交流の中で、様々な意見や情報などの聞き取りはできたが、形として残せるような工夫もしていきたい。
 - ・展示の仕方の工夫や、参加体験型のコーナーの充実等をさらに進めていきたい。

